

逮捕で成り立つ 東京オリンピック!?



全学連が呼び掛けた抗議行動の様子。
開会式会場の新国立競技場前に多くの
人々が集まった。(7月23日)

“オリンピック弾圧”を許さない！

7月23日、五輪開会式が行われた新国立競技場の前で、私たち全学連は五輪開催への抗議行動を行いました。20時の開会時間を前に、全学連の学生をはじめ五輪開催に反対する人々が続々と集まり、コロナ禍で五輪開催にこだわる政府や大企業など権力者たちへの怒りを叩きつける解放的な場となりました。

こうした状況を恐れた政府は、機動隊や公安警察による暴力を使って力づくで私たちの行動の封殺を狙いました。そして参加者Aさんを公務執行妨害をでっちあげて逮捕したのです。絶対に許せません。抗議行動を報道するために脚立の上に乗って撮影をしていた人を警察が脚立ごと引き倒して流血するケガを負わせた際、ケガ人をかばったAさんの手を警官がつかんだのを振りほどいたことが公務執行妨害とされたのです。本当に不当な逮捕です。

違法行為を行っていたのは警察の方です。警官たちは会場前で抗議する人々の進路を妨害し、その場に押しとどめました。これには何の法的根拠也没有。さらに週明けの26日にはAさんの関係先に家宅捜索まで行われています。このように法律すら無視して反対派を弾圧することでしか成り立たないのが

東京オリンピックの本質です。

オリンピックと私たちの生活が相容れないことは日々明らかになっています。すべての皆さんにこの不当逮捕を跳ね返し、今からでも五輪を中止に追い込むために救援カンパと8月1日の新宿デモへの参加を呼びかけます。

生活食いつぶす五輪は今すぐ中止

コロナ禍で多くの人々が解雇や廃業という生活の危機に見舞われる中、数えきれないほどの不条理を人々に押し付ける形で

救援カンパにご協力を！

逮捕された方の支援をするために弁護士費用などのお金が必要です。賛同して頂ける方は是非、全学連へのカンパ（募金）にご協力お願いいたします。

振込先：郵便振替

「00190-0-766112

全日本学生自治会総連合」

全学連
全日本学生自治会総連合

ホームページ：www.zengakuren.jp

メール：mail_cn001@zengakuren.jp

ツイッター：@Zengakuren

強行されたのが今回のオリンピックです。開会式をどれだけ飾りたてようと、この矛盾は決して無くなることはありません。

そして、その裏でほくそえむのは「ぼったくり男爵」と呼ばれるIOC会長のバッハや竹中平蔵（パソナ会長）のような利益を懐に入れていく一部の資本家・権力者たちです。そして美辞麗句を並べ立てて、こうした権力者の利益拡大のために全力をあげてきたのが菅首相です。「平和の祭典」の正体は、人々の生活を食いつぶす金儲けにほかなりません。

排除で成り立つ五輪はいらない

オリンピックは“多様性”を謳い、難民選手団も参加しています。しかし、日本は世界でも最低レベルで難民認定率（2019年はたったの0.4%）、強制送還や入管収容施設での年単位の長期収容や虐待を続けています。こんな政府の語る多様性とはいったいなんなののでしょうか。しかもこの入管の運用は東京での五輪開催決定をきっかけに、より厳しいものにされてきました。徹頭徹尾、開催に反対する人や“不安要素”となる人を排除することではか成り立たないのが東京五輪です。

オリンピック利権や様々な矛盾にに対する怒りを一つの形にした抗議行動を守るために身体をはったのがAさんです。Aさんが獄に捕らわれる道理は全くありません。

今こそみんなで声を上げよう！

Aさんの早期釈放のために、そして利権にまみれ、人々の生活を破壊しながらオリンピックを推進するこの社会を変えるためには、このビラに目を通したみなさん一人ひとりの力が必要です。

コロナ禍でデモや抗議行動に集まり、声をあげることに違和感を持つ方もいるかもしれません。しかし、コロナ禍の最前線である医療現場で働く参加者が抗議行動で語った「生活や命を守るために闘う時だ」という言葉にこそ真実があるのではないのでしょうか。ミャンマーや香港、アメリカのBLMをはじめ、世界中で人々はコロナ禍でも大規模な政治行動に集まり、闘っています。私たちが行動を自粛しても、権力者が自分たちの利益のために人々に矛盾を押し付けることを自粛することは決してありません。

「開催されたら日本人は五輪を楽しむだろう」というのがバッハの言です。こういう腐りきった権力者たちに「ふざけるな！」と突きつけてやりましょう！

五輪は中止!! 8・1 (Sun) 新宿デモへ

16:00～ 新宿アルタ前での宣伝

17:00～ 新宿東口1周デモ

18:30 原宿署への申し入れ

主催：改憲・戦争阻止！大行進運動／全学連

人々の行動が社会を変える

社会はそう簡単には変わらない、権力は強すぎて逆らえない、そう思っている方も多いかもしれません。しかし、いつだって様々な権利を勝ち取り、社会を変える根本にあったのは人々の力です。

開会式会場の目前で、警官隊の妨害を跳ねのけながら抗議行動を貫徹した事実が、その力の一端を示しています。国家の威信をかけて行ったオリンピックの開会式の最中、会場内の選手や記者たちが抗議の声を聴き、それを報道しています。

菅政権やIOC、スポンサー連中がどれだけ旗を振っても、ボランティアなどスタッフに動員されている人たちが協力しなければ、1つの競技も行うことはできません。彼らが決起し、五輪動員への協力をやめれば、今日にでもオリンピックを中止させることはできるのです。

開会してしまった、やれることはない、という人々のあきらめを、バッハをはじめとした利権集団は大喜びで待っています。声を広げ、オリンピックの中で進行する不正義を暴き、Aさんを釈放させましょう！

「オリンピック中止！」
の声をさらに大きく上げ、8月1日のデモに参加して一緒に行動することで、1日も早く五輪を中止を追い込みましょう！



警察から暴力をふるわれた参加者は服をビリビリに引き裂かれた。（7月23日）

前進チャンネルを見よう！



7月23日オリンピック開会式当日の抗議行動の様子はYouTubeでライブ配信しました。アーカイブとして配信されていますので、是非そちらも御覧ください（QRコード・上）。近日中に編集したのも配信する予定です。また各種メディアやSNSでも拡散されているので検索してみてください。

※前進チャンネルとは？

全学連と中核派の若者世代で運営する左派・政治系YouTubeチャンネル。時事問題やマルクス主義の解説などを行いながら、社会運動への参加を呼びかけている。チャンネル登録して毎回チェックしよう！（QRコード・下）

